

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 3 月 12 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3870103604		
法人名	有限会社 トータルケア果の実		
事業所名	グループホーム こころ今出		
所在地	愛媛県松山市西垣生町1607-1 (電話) 089-968-6541		
管理者	八幡 富久美		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 12 月 4 日	評価確定日	平成 20 年 3 月 12 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 11 月 11 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 11 月 21 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 8.5 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 200 円
	または1日当たり	1,000 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 19 年 11 月 11 日事業所記入)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護 1	2 名	要介護 2	3 名
要介護 3	3 名	要介護 4	1 名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 79.3 歳	最低 69 歳	最高 91 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは2階建てで、古くからの住宅と新興住宅の中で周囲にとけ込んでいる。1階部分にはトイレ、浴室、台所等を配し、ウッドデッキを備えた広がりリビングダイニングは和室とともに南側にあり、太陽光が降り注ぐ開放的な共用空間である。全居室は2階にあり、静かで落ち着ける雰囲気である。管理者、職員は地域密着型サービスの役割を理解し、検討した具体的行動目標を日々のケアに活かしている。運営者の支援のもと、職員は段階に応じて内部・外部研修を積極的に受講し、ホームの質の向上を図り、「いつも笑顔で楽しく」をモットーにサービスに努め

## 【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
評価の結果を活かし、職員の研修受講の仕組み、運営推進会議開催に関して地域との交流、災害対策等の改善を図っている。それら改善点と対応を記録し、全職員が確認して更なるサービスの向上に努めている。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
職員全員が個々に取り組み、管理者がまとめた自己評価をミーティングで話し合い作成している。職員は、日々のケアの振り返りや新たな課題を考える良い機会と捉えている。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
市担当者、地域包括支援センター職員、地域代表者や家族の参加のもと2か月ごとに開催し、ビデオを用いて利用者の暮らしぶりやホームの紹介をしたり、防災、ホーム主催の夏祭り等を議題とし、参加者から感想や意見、要望をもらい、運営に反映している。今後はさらに幅広いメンバーの参加を期待する。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
入居時に意見や要望、不安等を表す機会や申し立て先のあることを説明している。家族の訪問時や手紙などの機会に繰り返し問いかけ、話しやすいよう配慮している。出された意見や要望によりミニ運動会を実施するなど、運営に反映している。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
町内や公民館行事の祭り、運動会、文化祭等に積極的に参加したり、亥の子や神輿の受け入れ、近隣の幼稚園児との相互訪問等、地域との交流がある。法人内のグループホームと合同で夏祭りを開催し、地域住民に呼びかけ、地域との連携を図っている。ペットの鯉の餌やりを共にしたり、野菜を貰うなどの普段の付き合いもある。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームころ今出

(ユニット名) 1ユニット

記入者(管理者)  
氏名 八幡 富久美

評価完了日 平成 19 年 11 月 11 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) ご利用者が地域の中で安心して暮らしていただける様、これまでの理念を見直し、具体的でわかりやすいものに作りかえ、それに少しでも近づける様、行動目標を作成し日々努力している。  (外部評価) 地域密着型サービスの意義を全員で確認し、従来の理念を見直し「信頼、和、安心」を基本理念とし、10項目の行動目標を話し合っって作成している。	※	今後もご利用者が安心して地域で暮らしていける様 地域との交流を大切にし、また『地域で暮らしている』という意識づくりに努めていきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念の実践に向けて、理念に添った行動目標を立て、朝・夕の申し送り時に、理念に必ず触れ、確認し合う様にしている。また、理念と行動目標を玄関ロビーや職員のロッカー等目につく場所に掲示し日々確認しながらケアに努めている。  (外部評価) 管理者と職員は理念を基に話し合っって作成した具体的な行動目標を全体ミーティングや日々の申し送りで話し合い、実践に向けて日々取り組んでいる。		今後も理念の実践に向けて自然と意識できるように工夫していきたい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入所の契約時には理念の説明等を詳しく説明している。来所された方には、玄関ロビーに理念を掲示し 見て頂く様にしている。		運営推進会議を利用しご家族をはじめ民生委員・市の介護保険課・地域包括支援センター等の方々に当ホームの理念を説明させて頂いた。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 積極的に散歩や外出を行い、近隣の人とは笑顔で挨拶する様に心がけている。ご近所は野菜を作られている方が多く、収穫された野菜や果物を届けてくださる。	※	今後も気軽に立ち寄って頂けるよう、地域の方々に笑顔で挨拶等を行う事を続けていきます。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内で行われる秋祭りや文化祭、その他のお祭りなど地域の行事などに積極的に参加している。また、輪越しの参拝や運動会等 声をかけて誘って下さる。近隣の幼稚園児達が遊びに来てくれるなど、地域との交流は増えている。  (外部評価) 公民館に向いて行事を確認し、町内の祭りや運動会、文化祭等に参加したり、神輿や亥の子を受け入れるなど、地域行事に積極的に参加している。また、近隣の幼稚園児との相互訪問を行ったり、近所の方から畑の野菜をもらうなどの付き合いもある。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者等の相談があれば、丁寧に対応したいと思っているが、地域貢献にまでは至っていない。	※	今後は職員の知識や実践経験を活かして地域の高齢者のケアサービスの推進に還元していく取り組みを行っていききたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の意義とねらいについて全職員に説明し、職員個々で自己評価に取り組んだ後、ミーティング時に職員全員で見直しを行い、できる所から改善に取り組んでいる。  (外部評価) 自己評価は職員全員で取り組み、管理者がまとめ、再度職員と話し合っって作成している。職員は評価を日々のケアの振り返りと新たな課題を見出す機会と捉えている。外部評価は結果を活かし、研修、運営推進会議、地域との交流など具体的改善に取り組み、「改善点と対応」に記録して、職員全員で共有している。	※	自己評価を活かして、今後も十分話し合っってホームのケアの質の確保・向上に努めていきます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ご家族や外部の方に、ホームの状況等を報告する事により、ホームの事をより深く知って頂き、また出席者の方からは貴重な意見を頂き、サービスの質の向上に努めている。	※	運営推進会議を開催する事により地域の事が今まで以上にわかってきた。今後ご利用者と共に地域との付き合いを継続していく為にも、運営推進会議を活用していきたい。
			(外部評価) 市担当者、地域包括支援センター職員、地域代表、家族等の参加を得て2か月ごとに開催している。ビデオを使って利用者の暮らしぶりやホームの紹介をしたり、防災やホーム主催の夏祭りについて議題に取り上げるなどして参加者から感想、意見や要望を出してもらい、サービスの質の向上に活かしている。しかし参加メンバーがやや固定的である。	※	運営推進会議での提案を活かし、会議にPTA役員、学校、警察など幅広いメンバーに参加してもらえるような取り組みを期待する。婦人防災クラブとの連携を予定していることから、今後の働きかけに期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 松山市社協の職員の方の実習の受け入れ先として、ホームを活用して頂き、ご利用者や職員との交流を図った。また、市の介護保険課の方に内部研修の講師を依頼し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価) 市社会福祉協議会の職員研修にホームを活用してもらったり、内部研修の講師をお願いしている。また、担当者を訪ねてホームの実情を話し合うなど行き来する機会を作り、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部からホームに講師に来て頂き、勉強会の機会を設けたり書類等を提示し職員の理解を深めるようにし、ご家族や地域の方からの質問に対応できる様に努めている。		現在この制度を利用されている方は、いらっしゃいませんが、必要な方にはそれらを活用できる様に支援していきます。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部からホームに講師に来て頂き、勉強会の機会を設けたり身体拘束や高齢者虐待防止法に関する書類等を提示し職員の意識の向上に努めている。	※	今後も研修に参加する等勉強会を継続していきます

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前に見学して頂き、ご家族やご利用者に十分な説明を行い、意向等を確認・把握し、納得された上で入所契約を行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご自分で意見の言えるご利用者の方は日頃から、意見や希望を積極的に言われ、その時々意見等は話し合い希望に沿う様に努めている。また、意見を上手に表すことができない、ご利用者の方は、顔の表情や態度からその思いを察する努力をしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ご家族の訪問時には必ずご利用者の現在の健康状態や暮らしぶりをお伝えしている。県外在住の家族や訪問の少ないご家族には電話やメール・手紙等で定期的に報告している。金銭管理は訪問時に確認・サインして頂いているほか、出納帳を毎月コピー・送付し確認して頂いている。  (外部評価) 家族の訪問時に利用者の暮らしぶりや健康状態を伝え、金銭出納簿を確認してもらい、季刊の広報誌を渡している。遠方の家族には手紙やメールで伝え、出納帳のコピーを送付し報告している。	※	季節ごとにホーム便りを発行し送付しているが好評であり内容をもっと充実させていきたい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族には、訪問時や電話等で常に問いかけ、ご意向を伺い、出された意見・要望等はミーティングで話し合い反映する様に努めている。また直接言いにくいようであれば、意見箱の利用を説明している。  (外部評価) 入居時、家族に意見や要望、不安の表出の機会があることや申し立て先について説明し、ホームにも意見箱を設置している。家族の訪問時や手紙などで常に問いかけをしている。出された要望を受けてミニ運動会を実施するなど、運営に反映させている。	※	松山市在住のご家族の方が少ない為、運営推進会議には順番で参加して頂く様に家族会で決定したが、できるだけ多くのご家族に参加して頂き、意見を聞く機会を増やしていきたいと思っている、

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々の申し送りや全体ミーティング時に意見を出し合っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 余裕をもった人員を確保できており、行事等には職員を多く配置するなど安全に安心して行事等をご利用者が楽しむ事ができる様にしている。看護師はシフトに入れない為、緊急の対応には迅速な対応ができる様にしている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 運営者はやむを得ず離職する場合、引継ぎの期間(2~3ヶ月)を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。  (外部評価) 職員間の人間関係も落ち着いており、ここ半年は異動や離職がない。代わる場合は、重複勤務で利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修には職員全員が勤務年数等を加味しながら希望を取り入れて受講している。受講後は報告書を作成し、ミーティングで発表してもらい、全職員が共有できる様にしている。また、外部からも講師を招き、ホーム内研修など身近で受講できる機会も設けている。  (外部評価) 内部研修は防災、成年後見制度、応急処置、虐待についてなどを学び、外部研修は運営者支援のもと、職員の希望や段階に応じて、パートを含めた全員が積極的に受講し、その内容を記録、報告して職員全員が共有できるよう努めている。		今後も研修会の情報を伝え、全職員が研修を受けられる様に取り組んでいきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) グループホーム連絡協議会の研修に参加し情報交換を行っているが、地域の同業者等の実践的な交流や連携は不十分である。グループホーム連絡協議会が主催している相互評価事業に参加しサービスの質の向上に努めている。  (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に所属し、相互評価事業に参加してサービスの質の向上に努めている。また、地域密着型サービス事業研修で、地域における協働体制について協議し、地域の同業者とのネットワークづくりや勉強会、相互訪問などの活動を行うことになっている。	※	近日中に地域密着型サービス事業者研修が開催されるがその中に地域包括支援センターを中心に「地域における協働体制について」というテーマがあり、これを機に地域の同業者とネットワークづくりや連携が行える様に取り組みしていきたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ご利用者と離れ、一息入れる休憩時間が以前は取れていなかったが、現在はきちんと取れる様にしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は頻繁にホームに来ており、職員個々の業務や悩みを把握している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に、ご本人にお会いし、心身の状態や生活状態を把握するように努め、またご意向や不安をお聴きして、その思いを受け止める努力をしている。		事前にアセスメントで得た情報は全職員が把握し、安心して生活して頂ける様にしている。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族同士の中でも思いがそれぞれ違う時があるが、じっくり話を聞き、それぞれの不安感を取り除ける様に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、ご家族やご利用者の思い・状況等を確認し、まずどんな支援が必要か見極め、ホームとしてできる限りの対応に努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご本人やご家族にホームを見学して頂いたり、ご本人が在住している所に出向く等して、入居前から関係性を作り、本人の意思を大切にしながら馴染んでもらう様に努めている。  (外部評価) 入居前にホーム長と管理者が利用者宅を訪問したり、本人や家族に見学してもらい、ホームの雰囲気に徐々に馴染むよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ご利用者は人生の先輩であり、常に尊敬の気持ちを忘れないという考えを職員が共有し、声かけを大切に、ご利用者と一緒に喜び・笑い・生きがいを感じられるように、一人ひとりの特徴を活かした支援をしている。また、ご利用者から職員に「ご苦労さん・」等の言葉をかけてもらうこともある。  (外部評価) 職員は、利用者を介護される一方の立場ではなく、人生の先輩として、時には友人として共に過ごす中で、対応の仕方を工夫しながら支え合う関係を築いている。		今後も行動目標にもある様に『ゆっくり』『いっしょに』を合言葉に笑顔を忘れずに介護に携わっていきたいと思う。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の訪問時には必ずご利用者の現在の健康状態や暮らしぶりをお伝えしている。県外在住の家族や訪問の少ない家族には電話やメール・手紙等で定期的に報告している。ご利用者に少しでも変化があれば報告し情報の共有に努め協力して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご利用者の日頃の状態をこまめに報告・相談したり、またご利用者自身に電話に出て頂き会話する等 ご家族との関係が途切れない様に支援している。	※	行事にご家族をお誘いし一緒に楽しんで頂き、より良い関係を築く支援を続けていきたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入所前の行きつけの商店や喫茶店等にお連れする等の支援に努めている。		今後ご本人にとって、思いのある場所にお連れする機会を作りたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ご利用者同士で談話されたり、協力して、洗濯物を干したりたたんだりして、助け合いの場面が多くみられる。おやつや食事の時間など、ご利用者同士が声かけされている。	※	仲良くされている様であっても、日々心身の状態や気分・感情は変化するので注意深く見守りを行い、ご利用者同士の関係がうまくいく様に職員が調整役となる様に心がけていきたい。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービスの利用が終了された方も、家族を含め遊びに来て頂く等、継続的な付き合いができる様に心がけていきたいと思っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々のかかわりの中で声をかけ希望等の把握に努め、買い物・食べ物等直ぐに対応できる事は迅速に対応している。入居時にはご利用者それぞれの思いや意向の把握に努め、コミュニケーションの困難な方は、ご本人の表情等から推察したりご家族と情報交換・相談等を行い対応している。  (外部評価) 利用者一人ひとりに担当職員がおり、利用者の生活歴を元に、思いや希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、職員が交代したり根気よく接することで、利用者本位になるよう努めている。	※	日々の声かけのなかで思いや意向が把握できた時は日々の介護記録に記録し、共有し話し合いができるようにこれからも努めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前にはご家族・ご本人・関係者から、入所後も同様にご利用者自身から話を聴いたり、ご家族・知人等の訪問時に少しずつ把握するように努めている。	※	プライバシーに配慮しつつ、ご本人が自分らしく暮らして行く事ができる様に生活歴等の把握に努め、新しい環境に馴染めるよう気配りしていきたい。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ご利用者一人ひとりの生活リズムを理解し、気づいた事は個々の介護記録に記載し申し送り時やミーティング時に話し合い、全職員が共有できる様に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画の作成・更新時には、ご本人にご意向をお聴きし、ご家族には訪問時や電話・メール等で現在の状態をご報告しより良く暮らして頂く為の相談を行い、作成している。作成後はご本人・ご家族に説明し交付している。 <hr/> (外部評価) 入居前の訪問調査で作成したフェースシートとアセスメントを基に、全体ミーティングやケアカンファレンスで話し合い、家族・本人の意見や要望とともに、それらを反映した個別の介護計画を作成している。	※	介護計画の実施状況確認表を作成しチェックする事で職員全員が介護計画を意識しながらケアをおこなう事ができており続けていきたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に1回見直しを行っている。心身の状態・生活状況等に変化があればその都度、ご本人・ご家族等に連絡・相談を行ない、職員間でも話し合い、その時々合せて介護計画を作成している。 <hr/> (外部評価) 「ケアプラン実施確認表」で1週間ごとに状況を記録し、入居時は1か月目に、その後3か月ごとに見直している。また、状態の変化に応じてその都度見直し、主治医に報告して、現状に即した新たな介護計画を作成している。		主治医にも相談・助言を受け作成している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子やケアの実践・結果、気づき等を個別記録に記載し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	※	介護計画の援助内容に沿った記載ができる様に今後も努めていきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 受診等のご利用者やご家族が希望される病院へお連れしているが、現状では多機能性を活かした支援はできていないと思う。  (外部評価) 本人や家族の要望に応じて病院や通夜への同行など柔軟な支援をしている。訪問マッサージの受け入れも視野に入れている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) イベントに地域の方に依頼してきて頂いたり、民生委員の方には運営推進会議に参加して頂いている。消防署へは、避難訓練等の指導をお願いしている。	※	今後は地域の警察や教育機関等への働きかけを行い連携が図れるように努めたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ご利用者の希望により、訪問理美容サービスを利用している	※	必要であればご利用者の意向や必要性に応じて、他のサービス利用も支援していきたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員の方に参加して頂く事により意見等の情報交換などを行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入所前にご利用者の受診状況を把握し、ご本人・ご家族が希望する医療機関に受診できる様に支援している。協力医療機関とは24時間体制で連携をとっている。  (外部評価) 本人、家族の希望を大切にして、入居前のかかりつけ医受診を支援し、協力医療機関とは連携をとり適切な医療を受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関の先生は認知症に詳しく、相談・治療等を受けている。また、ご利用者の中には専門医の受診介助を支援している方もいる。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 管理者には看護師資格があり、日々の健康管理や医療活用の支援を24時間体制で行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には本人へのケアに関する情報を家族と相談のもと、医療機関に提供し 入院後は職員は頻りに面会に行き、ご本人とのコミュニケーションを図っている。また、家族や医師と情報交換しながら、回復状況等 早期退院にむけて話し合っている。	※	退院後も安心して暮らす事ができる様、家族・医療機関との連携を深めていきたい。
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 主治医・ご利用者・ご家族と繰り返し話し合いを行い、また職員も含めご本人にかかわる人全員で方針を共有している。  (外部評価) 本人・家族と、重度化した場合や終末期のありかたについて入居時に話し合っている。また、家族や主治医とも繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。		入居時に看取りや重度化について説明している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ご利用者の思いを大切にし、主治医・ご家族・職員と話し合い、ご利用者が安心して終末期を過ごして頂ける様に取り組んでいる。急変した場合は、すぐ対応して頂ける様 医療機関とも連携を図っている。		今後も協力医療機関と共にチームとしての支援に取り組んでいきたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 主治医の意見書やホームの情報提供書・介護計画書等によりご利用者が転居後もダメージを受けない取り組みをしている	※	今後もご利用者が転居後にダメージを受けない取り組みに努めていきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) ご利用者は人生の先輩であり、常に尊敬の気持ちを忘れないという考えを職員が共有し、声かけを大切にしている。居室に入る時には、ノックや声かけをして了解を取ってから入室する様にしている。個人情報に関しても取り扱いには十分配慮し対応している。 <hr/> (外部評価) 職員はプライバシー確保の重要性を会議で確認し、日々のケアの声かけや対応で利用者のプライバシーや誇りを損ねないよう配慮している。	※	日々の支援の中で職員同士がお互いに言葉かけや対応、記録等をチェックし改善できるように取り組みたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 些細な事でもご利用者が決める場面（調味料は醤油にするか・ソースにするか・飲みたい物・パンかご飯か・）をつくる工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 1日の大まかな流れはあるが、一人ひとりの希望やその日の体調を考慮して個々のご利用者のペースに添った支援をする様に努めている。起床時間・就寝時間・食事時間等ご利用者のペースに合わせている。買い物や散歩等日々お聞きし柔軟に対応している。  (外部評価) 一日の基本的流れの中で、利用者一人ひとりの体調を考慮しながら起床、就寝時間のペースを大切に、また、買い物や散歩などにも柔軟に対応し、希望に沿うよう支援している。	※	今後も個々の希望がだせる様な働きかけをしていきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 朝の着替えは、ご自分で選んでされている。日頃から薄化粧をされる方もいる。訪問理美容・なじみの美容院を利用しおしゃれを楽しまれている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理の下ごしらえ・下膳・食器拭き等 ご利用者個々の状態に応じて職員と一緒にやっている。食事はご利用者と職員が同じテーブルに座り楽しく食事ができる様にしている。  (外部評価) 調理の下ごしらえ、下膳、後片付け等利用者と職員が一緒に行っている。メニューに利用者の希望や好みも取り入れて、共にテーブルを囲み、和やかな雰囲気ですぐに食事が楽しみとなるよう支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ご利用者個々の嗜好物（お酒・飲み物・おやつ・タバコ等）を把握しており、それらを楽しめる様に支援している。タバコについては、職員が預かり、本人の希望にそって所定の場所での喫煙をお願いしている。	※	嗜好品に関しては、ご利用者の病状等を考慮しながら今後も楽しんで頂ける様支援していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を活用してトイレでの排泄を優先しながら、ご利用者に合った支援を行っている。排泄時の誘導は小声で行いプライバシーの配慮に心がけている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) ご利用者の希望や体調により柔軟に対応している。入浴を拒まれる方に対しては言葉かけや対応の工夫、チームプレイ等（異性の職員が介護を行っている場合同姓の職員に代わる）によって個々に合わせた入浴支援を心がけている。  (外部評価) 一人ひとりの希望やタイミングに合わせての入浴を行っている。入浴の苦手な利用者には、声をかける職員を交代したり、時間を工夫するなどして入浴を楽しめるよう支援している。	※	職員のローテーションで夜間の入浴は難しいが、くつろいだ気分で楽しい時間となる様支援していきたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、活動する事で生活リズムを確保するように工夫している。但し、活動状況により、体調や表情、希望等を考慮して昼寝などで休息がとれる様にしている。寝付けない時は牛乳やおにぎり等を摂取して頂いたり、職員と話をしたりして対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 利用者個々に合った楽しみや役割をお願いし、その度に感謝の意を伝える様にしている。時代劇の好きな方には専門チャンネルが見られる様にしている。好きなタバコをデッキで気持ちよく吸われる利用者の方もいる。  (外部評価) 玄関掃除、洗濯物干し・たたみ、調理の下ごしらえ等一人ひとりの力を活かした役割をもってもらい、また、編み物や繕い物、喫煙などの楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	※	何かをして「あ～楽しい」「また、したい…」という気持ちを持って頂けるように努めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理は職員が担当させて頂いているが、職員と一緒に外出・買い物をした時は、レジでお金の受け渡しなど、して頂いている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気のいい日は、近くのスーパーへ買い物に行ったり、鯉が生息している川へ餌をやりに行ったりしている。車椅子を利用されている方も一緒に出かけている。  (外部評価) 散歩やスーパーに買い物に出かけたり、100円ショップに毎日出かけるなど、一人ひとりの希望に沿って戸外に出られるよう支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ご家族の協力を得て、温泉に行くなど支援している。ご本人の希望により知人宅への付き添い等も行っている。	※	本人の思いに添って、お彼岸のお墓参り等の機会も支援していきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご家族や知人に電話されたり（特に贈り物が届いた時はお礼の電話をかけられる）、知人に手紙やはがきを出されたりしている。電話時は落ち着いて楽しく話せる様、またプライバシーに配慮している。	※	可能な方は、暑中見舞いや年賀状等を書き、家族とのつながりを持てる様にしていきたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会時間は制限なく、いつでも来て頂けるように配慮している。居室で一緒にお茶を飲んだり会話を楽しんだり居心地よく過ごせる様に心がけている。遠方の家族には宿泊もして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 内部研修を行い、職員の共有意識を図っている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、施錠はしていない。リビングの大きな戸も開放している。ご利用の方が外出しそうな様子を察知したら、さりげなく声をかけ 話しを聞いたり、一緒について行くなど対応している。  (外部評価) 日中は鍵をかけないで、常に見守っている。帰宅願望のある利用者や出かける利用者には声かけや同行をして、安全に配慮している。		帰宅願望の強い方は、その都度同行し精神的な落ち着きを取り戻して頂く様にしている。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は職員間で連携して見守りし安全に努めている。夜間は安眠を妨げない様に巡視し、安全確認している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ご利用者の状態に合わせて対応している。鍵のかかる大きな戸棚を設置し、洗剤等危険と思われる物を保管している。但し、日常的に使用するはさみ等は共有スペースで使用して頂いている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 外部から講師 及び消防署の方等に依頼して内部研修を行い知識を深め、一人ひとりの状態に応じた事故防止に努めている。万が一の事故が発生した場合は、速やかに事故報告書を作成し、事故原因の今後の予防対策について検討し、家族への説明と報告を行っている。	※	ご利用者一人ひとりの心身の状態を把握し、事故防止に努めていく。今後もヒヤリハット等を活用し、大きな事故にならない様に話し合っていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防職員の方や看護師の方による応急手当の勉強会を行っているが、もっと定期的に訓練を行っていききたい。	※	回数を重ねる事で不安なく落ち着いて対応できるようになると思うので、くり返し訓練を行っていききたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を経て、夜間を想定した避難訓練・避難経路の確認・消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている。通報訓練等はミーティングでも行う様にしている。  (外部評価) 消防署の協力を得て、夜間も想定した避難・防火訓練を行い、避難経路の確認や消火器の使い方を定期的実施している。職員と家族の連絡網を作成し、緊急時に備えている。しかし避難訓練の際に住民の協力は得られていない。また、水や食糧品、医薬品などの備蓄は用意していない。	※	地域との協力関係作りが殆どできていない。運営推進会議で民生委員の方等の繋がりが持て始めたほか地区の婦人防災クラブの情報も得られたので、地域との連携を活かしていきたい。  地区の婦人防火クラブ等と連携を図り、近隣住民の協力が得られる体制づくりが求められる。また、災害対策の備蓄についても検討を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) ご利用者個々の起こり得るリスクについて常に把握し、状態が変化する都度、ご家族に連絡・報告し対応策について、相談・説明している。		今後ともご家族との連携を更に深め、ご理解を得られるようにしていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルサインだけではなく、少しでも食欲や顔色、様子等の変化が見られた時は、看護師に報告し主治医の指示を受けている。朝夕の申し送りで職員全員がご利用者の体調の変化や異変などの情報の共有をしている。		今後とも情報を共有し早急な対応に結び付けられる様に努めたい。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬ファイルの作成や処方箋を個人ファイルに綴じ、職員が内容を把握できる様にしている。薬の処方に変更があった場合は注意深く本人の状態を観察して記録し主治医に報告するようにしている。	※	服薬の間違いがおきないように、朝昼夕で色分けし薬に名前を書いているが、今後も更に注意して支援していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェックを行い、体操・散歩・家事活動等で身体を動かす様に取り組んでいる。水分摂取や便秘に効果のある乳製品や繊維の多い食材を調理するように心がけている。	※	自然に排便できる様に、トイレ時のタイミング・食事の内容・体操・散歩等、更なる工夫に努めたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声かけ・見守りを行っている。義歯の方は定期的にポリデント洗浄を行っている。訪問歯科診療の先生より、口腔ケアに関する指導を定期的に行っているご利用者の方もいる。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分の摂取状況をチェック・記録し、職員が情報を共有している。本人の体調や嚥下状況に合わせた調理方法を工夫している。栄養士の資格を所有している職員が中心となってメニュー作りをしている。  (外部評価) 栄養士の資格を持つ職員を中心に、季節の素材を取り入れ栄養バランスに配慮した献立を立てている。食事や水分摂取量を記録し、必要量が摂取できるよう、また、退院後の利用者には摂取状況を記録して体力回復を目指すなど、一人ひとりの状態や体力、習慣に応じた支援をしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成している。外出後は手洗いやうがいを励行し、トイレ利用後は手洗いの見守り・声かけを行いペーパータオルを使用している。また、ご利用者およびご家族に同意を頂き、職員共にインフルエンザの予防接種を受けている。		ノロウイルス対策に次亜塩素酸ナトリウム消毒液を使用している。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所、調理器具等は毎日消毒し、衛生管理に努めている。冷蔵庫も点検・掃除をし食材も賞味期限内に使用し安全管理に努めている。	※	冷凍庫食材の日付チェックも定期的に行っていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関廻りには工夫して花やプランターを置き家庭的な温かみや季節感を感じられる様にしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 1階がリビングで、南側が全面 窓になっており明るい陽射しが射し込み、レースのカーテンを使用して、陽射しを調節している。リビングの奥には14畳の畳の間があり、横になったりテレビをみたり、洗濯物をたたまれたり・・・のんびり過ごして頂いている。  (外部評価) 1階の共用空間は明るく、太陽光をカーテンで調節している。ウッドデッキでは鯉を飼育し、利用者と近隣住民との交流や利用者の喫煙場所にもなっている。トイレや浴室など気になる臭いもなく、清潔で清掃が行き届いている。玄関は季節の花や観葉植物が置かれ、掲示板に職員手作りの職員全員の顔写真が貼り出され、利用者・家族に安心と親近感を与える。		リビングのテーブルや玄関には季節の花を飾り楽しんで頂いている。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファで気の合う同士でテレビを見られたり、ウッドデッキでタバコを吸われたり、和室で横になられたり・・・と思い思いに過ごされている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室内は、ご家族の写真を飾られたり、仏壇やテレビ等を置かれている方もおられる。出窓があり、お花の好きなご利用者の方は植木鉢を置いたり生け花を飾ったりされている。  (外部評価) 整理ダンス、テレビや仏壇、家族の写真、手芸品、花や観葉植物など、それぞれ使い慣れた物や好みの物を持ち込み、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) エアコンと空気清浄機を各居室・リビング・居間等に設置している。毎朝換気し、自然の風を通して。温度計を設置しているが、ご利用者の様子をみながら調整している。またご利用者の衣服の調整にも気をつけて行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりは廊下・トイレ・浴槽等各所に設置し安全確保と自立への配慮を行っている。	※	ご利用者の状態に合わせて、自立した生活ができる様、手すり等の設備を上手に活用していきたい。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室にご利用者の写真と名前を木枠で飾っている。トイレや浴室には木の板に墨で大きく書き、混乱を防ぎ自立して暮らせる様に努めている。		ご利用者の様子を観察し、混乱や失敗があれば、その都度 職員一同で話し合っ工夫していきたい。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関先に花やプランターを置いたり、メダカを飼い、それらの世話をしたり、また観賞したりして楽しんでいる。窓の外にはウッドデッキがあり、洗濯物を干したり、タバコを吸いながら日向ぼっこを楽しんでいる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	ご利用者一人ひとりの思いを大切に支援し、ご利用者の皆さんとの会話を通じて理解しているつもりではあるが、全てではないかもしれない。また、意向や願いがあっても安全面や職員体制によりできない場合もあると思う。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	朝・昼・夕の食事と10時と15時のおやつの時間等にはご利用者と職員がテーブルを囲み談話したりしてゆったりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご利用者一人ひとりのペースで生活されている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の働きかけで笑い声や笑顔がよく見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩や買い物、季節に応じた外出等は職員と一緒に出かけているが、ご家族の事情や職員体制上の事情で必ずしもご利用者が行きたい所へ行くことはできていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	健康管理や医療面においては、24時間医療連携体制がとれている。夜間は巡回時間以外にも見守りを強化しているが、まだ努力していく必要がある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々のご利用者の体調や心身の状態等を汲み取り、その時々状況に応じて、職員の声かけや見守りで安心して生活できている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ご家族が訪問のたびに近況報告をしており、その都度不安な事や要望等をお聞きしている。また県外在住のご家族には些細の事でも電話やメールで連絡して信頼関係が築けるように努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	近所の方が畑で収穫された野菜等を届けて下さったり、地域の幼稚園児達が訪問して来てくれたり、クリスマス会に地域の方が大正琴の演奏に来た下さったりと地域との交流は増えてきているが、頻度でいうと少ない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	以前よりは、徐々に理解者や応援者が増えてきていると思う。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	何らかのストレスは抱えていると思うが、仕事中は理念を念頭に置き明るい笑顔を絶やさない様になっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その日の状況によっては、職員の体制等により希望される事ができないことがある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ここに来て、ご利用者が落ち着き表情が柔らかくなり笑顔が見られる様になってよかったと言って頂いている。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

\*ホームはイチジク畑が周辺にある閑静な住宅地です。近くには鯉が生息する川があり、散歩がてら鯉に餌をやりに出かけ、自然や地域の人々と触れ合う機会作りに努めています。

\*ホーム内は広く1階がリビングになっています。南側が全面、窓になっており、明るい陽射しが射しこみます。リビングの奥には、14畳の畳の間があり ご利用者の方や来訪された方がゆったりと落ち着いて過ごせます。

\*「信頼」「和」「安心」を基本理念として掲げ、どんな時にも笑顔で心をかけ、ご利用者・ご家族・地域の方々・職員との信頼関係を大切にし、安心して穏やかで和みのある生活を送って頂ける様、心がけています。

\*「役割のある暮らし作り」「地域で暮らしている」という意識づくりを心がけその人らしく生き生きと生活でき、可能な限り自立して、そして地域の中に溶け込んで過ごして頂ける様努めています。